

科 目 名	課題研究	単 位 数	3 単位	学 科 ・ 学 年	畜産総合 科 3 年
使用教科書				副 教 材 等	
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けられるようにする。 (2) 農業に関する 課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に 5 段階の評定に総括します。 ①知識・技能 畜産の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、学びの中で課題を探求し解決する。 ○データーのまとめや、調べ学習においてパソコンを使って取り組んでいく。 ○実習（農業鑑定学習含む）を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか。 ○周囲との協調を図り、作業を円滑に進めることができるか。 ○研究を追考していくために、議論など自分の意見をいうことができる。 ②思考・判断・表現 畜産における総合的な技術の習熟と、各科目におけるを経営する学びをとおして課題を発見し、科学的根拠などに基づいて解決する力を養う。 ○協調して、計画的に取り組むことができるか。 ○日々の取り組みを進化させ、自ら適切な判断をし、成果に向けて取り組める。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。 ③主体的に取り組む態度 畜産の総合的な知識や技術、経営等について企画力や管理能力などを主体的協働的に取り組む態度を養う ○積極的に取り組もうとする姿勢があるか。又、準備や片付けがきちんとできているか。 ○記録や課題点がきちんとまとめられているか。 ○研究中・または作業中の服装に乱れがなく、態度はよい。 評価方法\観点 ① ② ③ 学習状況観察 ◎ ◎ ◎ 学習意欲・態度 ◎ — — 研究レポート — ○ ○ — — — ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。				
履 修 上 注 意	教科内容は協調性や意欲、集団の中での作業が中心となります。〔服装・礼儀・協調性・安全衛生意識〕さらに、時間を守ることも重要です。				

学 期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4 5 6 7	テーマの説明・決定 研究への取り組み 研究への取り組み	36	研究内容テーマの説明 テーマに基づいた研究や実験をしていく中で問題解決能力や創造性、自発性を高める。 研究の記録や情報収集に心掛けるとともに効率よく研究が進めるような態度を育てる。	自分にあったテーマの説明を参考にして選択する。 研究に対して意欲的に取り組みができているか。 レポートがきれいに整理されているか。
2	9 10 ～ 2 11 11 ～ 12	研究への取り組み	39	テーマに基づいた研究や実験をしていく中で問題解決能力や創造性、自発性を高める。 研究の記録や情報収集に心掛けるとともに効率よく研究が進めるような態度を育てる。	中間のまとめ (中間報告書の作成) ↓ 研究前半を振り返り実施計画を練り直す。 レポートがきれいに整理されているか。
3	1 2	研究内容のまとめ作成・発表 *①牛に関する研究②豚に関する研究、③鶏に関する研究④畜産物加工に関する研究の4つの課題テーマで班を編成し調査研究に取り組みます。 また、調査研究のため校外で活動することも比較的多くあります。さらに定時の時間割のほか、夏休みなどの長期休業中や放課後等も研究のために活動することがあります。	30	年間の研究内容を整理し課題研究の解決することでの達成感や自信を身につける。	研究発表会(プレゼンテーション)の実施。 ↓ 全員で協力しあって問題の解決、研究内容のまとめができているかを1・2年生の後輩の評価も含め審査する。
		合 計	105		